

## 魚雷と添い寝する隊員にビックリ 北里大学生が潜水艦「ずいりゅう」を見学



艦長と記念撮影

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、8月6日（水）、北里大学医療衛生学部の学生9名（教員1名）が参加した、潜水艦見学を支援した。

学生たちが米海軍横須賀基地に入ると黒い大きな物体が現れ、それが最新鋭の潜水艦「ずいりゅう」（艦長 渡邊2海佐）と判ると、「すごい、まるで鯨みたい」という歓声が上がった。艦長の説明で約1時間、艦内を見学したが潜水艦の能力の高さはもちろんのこと、食堂のベンチの下も食料庫としてタマネギや芋などを保管し狭い空間を有効に活用していることに感心していた。また、教育を終了して潜水艦に配属なりたての新人が、魚雷の直ぐそばのベッドで寝起きしていることにとても驚いていた。最後に女子学生から艦長に、「結婚していますか？」という質問に対し、「はい、結婚しています。潜水艦乗組員は艦内のハッチやバルブに指輪を引っかけられる恐れがあるため、指輪を付けない習慣があります」という回答に、肩を落としているように見えた。

相模原地域事務所は、「今後も、潜水艦見学等、貴重な体験を通じて自衛隊を積極的にPRしていきたい」としている。

## 入隊の意思が強くなった 富士総合火力演習を見学して

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、8月21日（木）、陸上自衛隊東富士演習場で行われた総合火力演習の見学バスツアーを支援した。

このバスツアーには、自衛隊に興味を持つ学生、受験予定者やその保護者、約50名が参加した。

当日は天候に恵まれ、涼しい風が吹く絶好の見学日和の中、参加者からは、迫力ある最新鋭の「100式戦車」の射撃が標的に命中するたびに大きな歓声があがっていた。また、演習場を離島に見立て、海上・航空自衛隊の航空機などと連携して奪回部隊が制圧する島しょ防衛の手順も展示された。見学に参加した学生からは、「100戦車の衝撃音にびっくりしました」「ますます陸上自衛隊への入隊意志が強くなりました」などの声が聞かれた。

相模原地域事務所は、「今後も各種イベント等に募集対象者を招待し、入隊意欲の向上に努めていく」としている。

## 地本の所長がモデル 女子美術大学学生が油絵の完成報告



デッサンの時の様子



完成した絵画

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）に、女子美術大学の学生が所長をモデルに描いた作品の完成報告に訪れた。

絵の中の自衛官は、青空に対し挙手の敬礼を行い背中を向けている。その足下には黄色い白妙菊（しろたえぎく）が咲きほこっている。

青空は、平和と自由を連想させ、自衛官の大きな背中や凜とした敬礼には、「国を支える、国民を支える」という決意がにじむ。白妙菊の花言葉は「あなたを支える」である。日本の存立と平和のため、事に臨んでは危険を顧みずに職務に当たる自衛官の覚悟と、それを支える多くの国民の思いが作品から伝わってくる。

相模原地域事務所は、「国民の信頼を得られるよう、引き続き、地域の方々と真摯に向き合い、理解と協力を求めていく」としている。